



<ベトナム・リサーチレポート>

情報提供用資料

2020年6月30日

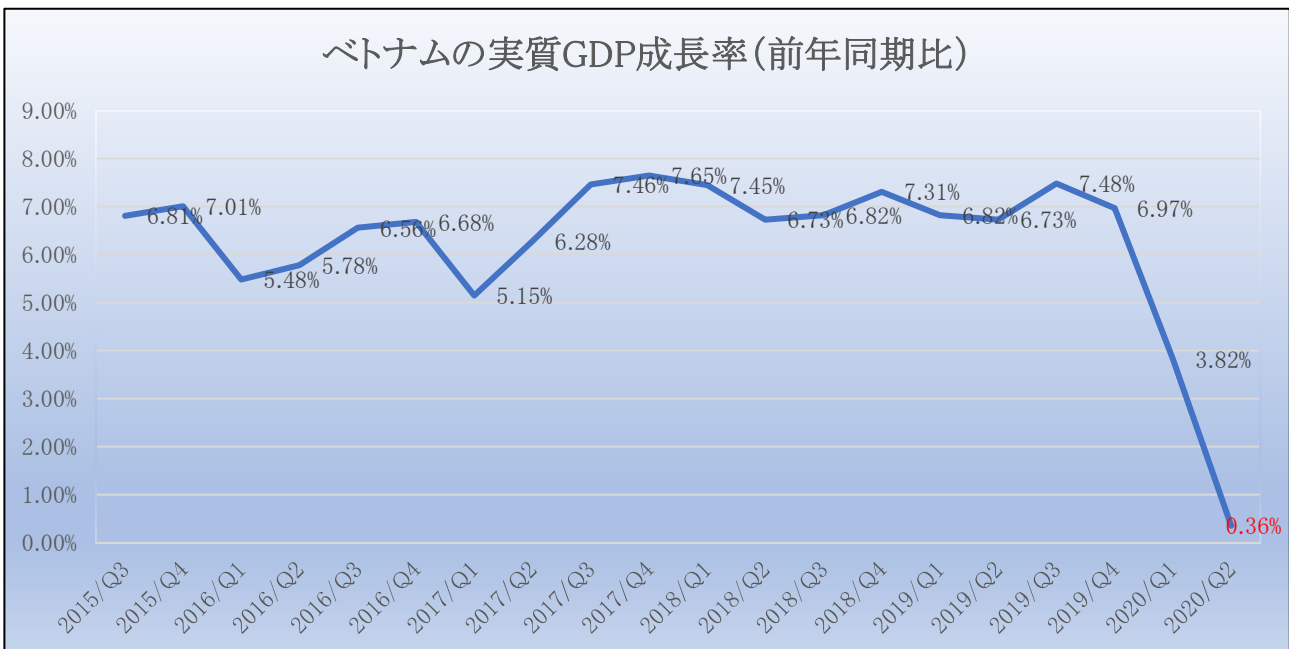
ベトナムの実質GDP成長率(2020年第2四半期)は

+0.36%でマイナス回避

ベトナム統計総局(GSO)が29日に発表した第2四半期(4~6月)GDP成長率は+0.36%となり、コロナウイルスの感染拡大で世界的にマイナス成長に陥る国々が増える中、同国はプラス成長を維持した。2020年上半期(1~6月)のGDP成長率は、前年同期比+1.81%となった。コロナウイルス蔓延につき、経済成長を一部犠牲にして感染拡大の防止と国民の安全確保を優先したものの、外需に予想以上の回復がみられた。

上半期(1~6月)の貿易黒字は40.4億ドルの黒字となり、鉱工業生産指数(IIP)は同+2.8%(6月単体は同+7.0%)となった。第2四半期の産業別では、「農林水産業」が+1.72%、「工業・建設業」が+1.38%、「サービス業」が-1.76%だった。

政府は通年の成長率目標を6.8%に維持する一方、実際の予想としては3.6~4.5%としている。



出所：政府統計局(GSO)

以上

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したもので、投資信託の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。